



「料理人」(P147)は醜悪な男の肖像画である。顔は料理されたさまざまな肉で構成されている。鶏、ウサギ、豚。帽子は銀の大皿で、縁に別の肉が映っており、料理人としての役割を強調している。レモンのスライスとオークの葉が羽飾りを形作っている。カーニバル(マルディグラ)や「愚者の祭り」の道化役の姿を思わせる。道徳や法律、肉体的・性的に行き過ぎた行為をたしなめる規則をあざ笑う祭りである。そして食事をはじめとする肉体的な快樂が勝利を取める。



「イブとリンゴ、そして対になるもの」(左側)

1578年

カンバスに油彩、43 x 35.5 cm

バーゼル 個人蔵